

牛久市町界町名地番整理審議会議事録		日時	令和7年10月14日（火曜日）
件名	令和7年度 第1回 牛久市町界町名地番整理審議会	場所 時間	牛久市保健センター2階 研修室 13：30～14：30
作成年月日	令和7年10月20日（月曜日）	作成者	都市計画課：尾崎 友亮
出席者	(出席委員) 笹尾 知世委員、池辺 己実夫委員、橋本 庄司委員、 鈴木 充委員、関口 一正委員、鬼沢 春男委員、野島 正弘委員 (牛久市) 沼田市長 (事務局) 飯島建設部次長、加藤都市計画課長、花島課長補佐、風間主任、尾崎主事 (傍聴者) 0名 (順不同)		
議事内容	【説明事項】 (1) 牛久市町界町名地番整理基本計画について (2) 東獺穴地区の概要について (3) 今後の進め方		
会 議 内 容 等			
1. 開会 2. 市長挨拶 3. 委嘱状交付 4. 会長・副会長選任 5. 会長挨拶 6. 議事 【説明事項】 (1) 牛久市町界町名地番整理基本計画について (2) 東獺穴地区の概要について (3) 今後の進め方 ＜牛久市町界町名地番整理基本計画について＞ ＜東獺穴地区の概要について＞ ◎質疑 (委 員) 市民からの要望で変更するのか。 (事 務 局) 今回区画整理事業が実施されている地区は基本計画上の東獺穴四丁目ですが、区画整理組合の組合員（地権者）より、「ひたち野」という町名を使ってほしいという強い要望があった。 (委 員) ひたち野西に入れるしかないのでは。 (事 務 局) そうすると、ひたち野西一丁目の北側にひたち野西五丁目ができてしまい、牛久市町界町名地番整理要綱の考え方と異なってしまうので、新町名を検討する必要がある。 東獺穴四丁目だけを新町名に直すこともできないので、全体で見直さなくてはいけない。 (委 員) 例えば、四丁目、五丁目を新町名の一丁目、二丁目にすることは可能なのか。 (事 務 局) 可能。それを今後検討していく。			

(委 員) 現状住民アンケートは実施しているのか。

(事 務 局) 約 20 年前の平成 18 年の時にこの審議会を行ったことがあるが、その際、ひたち野周辺の東大和田、中根、下根、東獺穴の住民にひたち野に入るのはいかがでしょうかという意向調査をやったことがある。結果として、やはり昔からの名称なので残してほしいという強い要望があり、区画整理地内のみをひたち野とした経緯がある。若い人や新しくきた人は新しい名前でもよいが、昔から住んでいる人は変えないでほしいという意見が多かった。今後、アンケート調査はやらないにしても、地元の人々の意見を聞いて進めていきたいと思う。

(委 員) 住所と地区名は異なることがある。住所は郵便を伝えたり、申請をするときに用いるものであるので、歴史的な地名とは分けて考えるべきではないか。

(事 務 局) 意見を参考に今後進めさせていただきます。

(委 員) 個人的に東獺穴という名前を気に入っているのだが、東獺穴四丁目を変えたいという人はどのくらいいるのか。

(事 務 局) 区画整理組合の総会があり、その中で盛り上がっていた。

(委 員) そんなに多くの人が東獺穴ではなく、ひたち野が良いと言っているのか。

(事 務 局) 東獺穴土地区画整理事業地内に土地を持つ組合員も、現在自分が住んでいる東獺穴町の既存集落を東獺穴から変えたいとは言っておらず、区画整理事業を行う東獺穴四丁目だけひたち野を使ってほしいという意見である。

(委 員) 基本計画上東獺穴四丁目になっているところに、住んでいる人はいないということか。

(事 務 局) 現在は数軒程。

(委 員) 新しく来る人のために新しい町名をつけるということか。

(事 務 局) そのとおり。東獺穴の既存集落は、基本計画上の東獺穴二丁目、及び五丁目のあたりにある。

(委 員) 東獺穴四丁目だけで変更はできないから、三丁目か五丁目を変更するのか。

(事 務 局) それは全体を踏まえて検討する。

<今後の進め方>

7. 閉会